

## 目標達成計画

作成日：平成 26年 8月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	利用者への言葉使いや対応に至らない点があり、認知症に対する理解を深めていく必要がある。	〇〇してはいけない12ヶ条を元に、認知症に対する理解を深め、利用者が人権を尊重され安心して暮らせる環境を作る。	〇〇してはいけない12ヶ条を定めており、職員一人、一人が、何故してはいけないのかを調べ全員で話し合いをし認知症の理解を深めていく。	6ヶ月
2	10	利用者の要望や意見はアンケート等により運営に反映する事ができているが、家族からの意見を聴く体制が整っていない。	家族の意見を聴き運営に反映できるよう体制を整える。また第三者委員などの相談窓口を事業所便りに常時記載する。	事業所便りに第三者委員の相談機関の情報を記載する。また事業所便りと一緒に運営に関するアンケートを送付し返信用封筒に入れて送ってもらうようにする。	6ヶ月
3	26	施設内で完結せずに地域の中でその人らしく暮らせるような体制作りが必要。	地域の中でその人らしく暮らせるように、家族、職員、本人が協力して介護計画を作成していく。	遠方に住まわれていたり、仕事が忙しい御家族が多い為、アンケート等を利用して御家族の思いを把握していく。またこちらが汲み取った利用者の思いを反映したアンケートを作成し介護計画変更前に送付する。	12ヶ月
4	4	運営推進会議に家族が参加できておらず、会議が活性化し運営に活かせるような議題が必要。また会議録を玄関に置いているが家族全員が周知できているとは言えない。	運営推進会議で事業所の取り組みについて意見を求め今後の運営に役立てていく。	1、議事録を事業所便りと一緒に家族に送付する。2、家族に送るアンケートに運営推進会議への参加の有無を確認する項目を入れておく。3、今後、取り組んでいくことを始める前に運営推進会議で意見をもらうようにする。	12ヶ月
5	54	各居室に利用者が家で使っていたような、なじみの物が少ない。	居室が自分の家であると感じられ、安心できるように部屋作りをする。	家族に協力を仰ぎ自宅で使用していた物を持って来てもらうようにする。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。